

■8月12日

ミャンマー国際航空、茨城—ヤンゴン線就航計画、月内にも覚書

ミャンマー国際航空が茨城空港への就航を目指し、県と大詰めの交渉に入ったことが10日、関係者への取材で分かった。ミャンマー最大都市ヤンゴンとの直行便として、週3往復のチャーター運航を年内にも始めたい考え。同国からの連続運航は国内空港で初めて。民主化が進むミャンマーには日系企業の進出意欲が高まっており、同航空はビジネス客の取り込みや観光需要に期待。県も定期便につなげたい考えだ。ミャンマー便は月内にも、県と同航空が覚書を交わす見通し。

茨城新聞が報じた。

就航交渉はミャンマー政府や同航空と、県側との間で昨年夏以降、本格化した。同航空が国内空港を比較した結果、東京に近い茨城空港の立地条件や施設利用料の低価格などを高く評価しているという。

(茨城新聞)8/11

http://ibarakinews.jp/news/news.php?f_jun=13761439781361 (-> http://ibarakinews.jp/news/news.php?f_jun=13761439781361)

三菱商事・JALUX、ミャンマー・マンダレー国際空港運営事業権獲得

三菱商事と日本航空系商社JALUXがミャンマー航空局(DCA)から同国第2位の都市マンダレー国際空港運営の事業権をめぐる優先交渉権を得たことが10日、分かった。11月にもDCAや現地企業と合弁会社を設立し、年内に正式に事業権を得る見通しだ。

合弁会社にはミャンマーの航空局が44%、JALUX26%、三菱商事25%、同国デベロッパ大手のSPAが5%をそれぞれ出資する。総事業費は約57億円。

同空港の2012年の旅客数は約57万人。空港ターミナルビルや周辺インフラの改修に加えて商業施設などで魅力を高め、10年以内に旅客数を3倍の170万人に増やす。

JALUXは、日本企業で唯一、海外でラオスのビエンチャン国際空港の運営・管理実績があり、三菱商事の総合力を加え、仏建設会社ヴィンチ連合に競り勝った。

(産経ニュース)8/10

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130810/biz13081013330003-n1.htm> (-> <http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130810/biz13081013330003-n1.htm>)

新開空会社・大成建設、ミャンマー・ハワディ国際空港、入札成功せず

(日経によると)

ミャンマー政府は10日、同国内の3空港の新設や拡張工事の発注先を決める国際入札結果を発表した。日本勢では三菱商事、日本航空系のJALUXの企業連合が、ミャンマー中部にあるマンダレー国際空港の改修・運営事業を獲得した。ただ事業費が大きく注目された最大都市ヤンゴン圏の2空港は韓国勢などに敗れ、受注できなかった。

三菱商事連合が受注したマンダレー国際空港は2000年に開港した。昨年の利用者数は57万人だが、観光客が急増している。日本連合は国際空港としての機能強化のための改修工事を実施し、今後30年間の空港運営も請け負う。総事業費は約60億円を見込む。

一方、ヤンゴン北郊外に新設を計画する「ハンタワディ国際空港」の建設・運営事業は韓国の仁川国際空港を中心とする企業連合に決定。最大のヤンゴン国際空港の拡張・運営事業は、現在も運営を担当している地元財閥アジア・ワールドや中国企業を中心とする企業連合が落札した。

事業費が2000億円規模とされるハンタワディ空港は新開西国際空港会社と大成建設が共同で入札したが、競り負けた。ヤンゴン空港は中部国際空港会社などが有力とされたが、競り負けた。シンガポールのチャンギ国際空港と組んだ日揮がいずれも補欠に入った。

ミャンマー政府は20年に現在の7倍の年750万人の観光客誘致を掲げているが、空港の能力不足が課題だ。このためヤンゴン空港の旅客処理能力を15年までに2倍の550万人に増強。またヤンゴン近郊に1200万人規模のハンタワディ空港を追加整備する計画で、事業者を募っていた。

(日経)8/11

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD1001U_Q3A810C1TJC000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD1001U_Q3A810C1TJC000/)

ボーイング787対応:全日空、運航再開後4,000便運航、バッテリーに不具合なし

全日空は8日、ボーイング787型機の運航再開後これまで約4,000便を運航したが、現在までのところバッテリーの不具合はないと発表した。また、国交省がTCD発行と同時に要請した「一定期間(3~6月)使用したバッテリーのサンプリング詳細検査」についても、機体からバッテリーを取り卸し、オーバーホールして調査したが、異常は見つかっていない。

(日刊航空)8/12

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)